

2022年9月から、
医療法人潤和会 札幌ひばりが丘病院は



社会医療法人 貞仁会

新札幌ひばりが丘病院

に法人名・病院名が変わりました。



<社会医療法人としてより地域のための医療を提供>

2022年9月1日、医療法人潤和会は社会医療法人の認定を受け、法人名を「社会医療法人 貞仁会」に改めました。それに伴い、病院名も「新札幌ひばりが丘病院」に改称しました。

社会医療法人は、救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療のいずれかを提供する、公益性の高い医療の担い手です。

当院は、病気やけがの治療後に、療養や医療上の管理を必要とされる方への入院医療と、在宅で療養される方への訪問診療を提供しています。訪問看護、訪問リハビリ、介護支援といった在宅支援を行い、地域のかかりつけ医を担うあおば内科クリニックも有しています。へき地医療への支援としては、厚真町、新篠津村、中川町への医師派遣を行っています。入院から在宅までをつなぐという、地域医療に欠かせない役割を果たしていきます。

<医療からまちづくりに参画し、住みたいと思われる地域に>

新札幌地域は再開発により、医療・教育施設が集約された新しい街となりつつあり、今後住民の増加も予想されます。一方で、厚別区の医療需要、なかでも高齢者に向けた医療の需要は高まっています。

医療や介護を生活している地域で受けられることは、住民の方々が安心してその地域に住み続ける力となります。この点で、医療・介護サービスの充実がまちの魅力を増すといえるでしょう。

私たちは行政や各医療機関・福祉施設と連携しながら、住みやすいまちづくり、住みたいと思われるまちづくりにも貢献していきます。医療の枠組みを超えた広いフィールドで、新札幌、厚別、また北海道の各地を支援できるグループへと成長していきたいと思えます。皆様には今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。